

ひきこもりについての考察

明星大学教授 高塚雄介

東京都、内閣府における調査、自身の臨床例などから今日の我が国に蔓延しているひきこもり現象の中核群の背景として次の課題が存在しているものと考察する。

□ 1980年代以前

社会的規範的目標へのこだわりと挫折からもたらされるものが多く見られた。

スチューデント・アパシーに見られる優勝劣敗意識の強さ

□ 1990年代後半～

私的規範、到達目標へのこだわりが強く、到達出来ない悔しさ、他から要求される課題への反発と挫折からもたらされるものが多い。

親たちからは、従来の社会的規範にもとづく行動目標の要求

学校や会社からは・・・言語的コミュニケーション能力の高さ

対人関係構築と維持能力の高さ

速やかに課題を達成する能力の高さ

を要求されることへの苦痛と反発

こうした存在が、全体の約1割に存在している。特に「ひきこもり親和群」に注目することが必要。フリーター・ニート化しやすい。こうした存在は世界的に見ると少ないが、日本とよく似た構造を有する国には今後増加する可能性が高いと思われる。教育などにおいて同一化、同質化する方針が強められればそれだけドロップアウトする若者（ひきこもり）が増える可能性がある。

添付資料

ひきこもりの心理的背景要因

都内中学生、高校生の「ひきこもり親和性」調査

ひきこもりの心理的背景理解

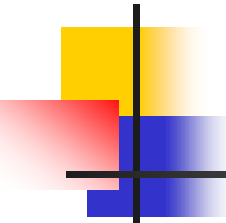
～その実態と対応・予防を考える～



高塚雄介

明星大学教授・大学院人文学研究科長

公益財団法人日本精神衛生会理事



青年期に見られる「ひきこもり」 現象の移り変わり……

- 1970年代
 - 司法浪人たちが見せた「ひきこもり」
- 1980年代～
 - アパシー・シンドロームが見せた「ひきこもり」
 - エリート志向・上昇志向が見え隠れした
- 1990年代後半～ ふれあい恐怖
 - 特に背景要因が明確にはならない若者たち(普通の若者たち)が見せる「ひきこもり」の急増
 - 当時のカルト集団に結集した若者たちに萌芽？



不登校がひきこもりの原因であるかのようにも言われているが？

- 不登校のすべてが長期化すると「ひきこもり」になるわけではない。ただし、不登校の約半数が五年後にも社会参加出来ていないという調査結果もある。約6～7万人と推定。これは内閣府調査による11、9%に附合する。
- 「ひきこもり」親和群の早発状態として出現する「不登校」に注目することが必要。
- 学校恐怖症型不登校 対人関係に緊張・不安を有する ひきこもり化しやすい
- 登校拒否型不登校 主体性へのこだわりを有する フリーター・ニート化しやすい(フリースクールなどへの参加により、一定程度の社会適応力はついている)



「ひきこもり」の多くは卒後に出 現している・・内閣府・東京都とも一致

- 東京都調査・・不登校の延長は19%
- 就職活動へのつまづき、就職後の体験、
- 人間関係・集団場面への抵抗感
- 多くは25歳以後に顕在化している。
- 内閣府調査・・不登校の延長は11.9%
- 職場になじめない、病気、就職活動への
- つまづき
- 半数が30歳以後の年齢層



ひきこもりの評価支援に関する新ガイドライン(厚生労働省)では…

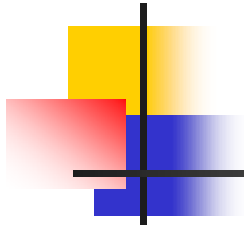
- ひきこもりの総数を全国26万世帯に存在と推定し、
- 「ひきこもりは原則として統合失調症の陽性陰性症状に基づくひきこもり状態とは一線を画した非精神病性の現象とするが、実際には確定診断がなされる前の統合失調症が含まれている可能性は低くないことに留意すべき」・……としている。
- 根拠・・全国5ヶ所の精神保健福祉センターを訪れた184名のひきこもり相談の分析による。……
- さらに医学モデルを軸として「ひきこもり」をとらえ、次のように説明をしている。



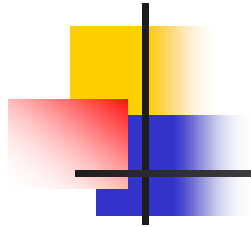
新ガイドラインに示された指針

ひきこもりの三分類と支援のストラテジー

- 第一群
- 統合失調症、気分障害、不安障害などを主診断とするひきこもりで、薬物療法などの生物学的治療が不可欠いしはその有効性が期待されるもので、精神療法的アプローチや福祉的な生活・就労支援などの心理・社会的支援も同時に実施される。



- 第二群
- 広汎性発達障害や知的障害などの発達障害を主診断とするひきこもりで、発達特性に応じた精神療法的アプローチや生活・就労支援が中心となるもので、薬物療法は発達障害自体を対象とする場合と、二次障害を対象として行われる場合がある。
- DSM では、これまで日本で重視してきたアスペルガー(知的障害を伴わない発達障害)を削除したことに留意



- 第三群
- パーソナリティ障害(ないしその傾向)や身体表現性障害、同一性の問題などを主診断とするひきこもりで、精神療法的アプローチや生活・就労支援が中心となるもので、薬物療法は付加的に行われる場合がある。



実際に相談したことのある機関

- 内閣府調査によると
- 精神保健福祉センター 9.5%
- 保健所・保健センター 14.3%
- 発達障害者支援センター 9.5%
- 職業安定所などの就労支援機関 33.3%
- 病院・診療所 57.1%
- 心理相談・民間の機関 14.3%



内閣府調査による実態は・・・

- 6か月以上就業・就学をしていない若者たちで
- ①普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事
のときだけ外出する 1.19%、46万人
- ②普段は家にいるが、近所のコンビニなどには
出かける 0.40%、15.3万人
- ③自室からは出るが、家からは出ない
0.09%、3.5万人
- ④自室からほとんど出ない 0.12%、4.7万人



内閣府調査の結果と厚生労働省による提示との関連は・・・

- この中の②③④に該当する「ひきこもり」
- (約24万人)の人たちの中には、新ガイドラインの指摘するタイプの人たちが含まれている可能性があるかと推測される……
- しかしながら、①に該当する46万人(全体の3/2)の人たちは、新ガイドラインが指摘するのとは違うタイプである可能性が高いと思われる……



社会的ひきこもりという曖昧な概念によりもたらされた現場での混乱

- あらゆるタイプの「ひきこもり」は、基本的に社会的行動から遠ざかっており、病気や障がい起因するものも、結果的には「社会的ひきこもり」となる。現場に行くほど見極め、境目が判然としなくなり、混在する対象に対して一律的な対応が図られており、有効な対応が図られていない。効果があがらない
- 「ひきこもり」=必ずしも「とじこもり」ではないとの認識は大切である。



ひきこもり概念の再構築が必要ではないのか・・状態像として見ることの限界

- 病気・障害等に起因する従来から存在していた対象を、今日的な「ひきこもり」と呼ぶべきなのだろうか？ 精神保健福祉法を改正し、社会復帰方策を明示すべきでは
- 心理的ひずみに起因する対象 今日的
- 単なる現象として見るのではなく、「ひきこもり心性」と言うべきものが醸成され
- てきた存在として対応すべきでは



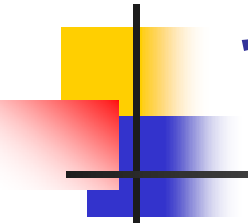
「ひきこもり」をもたらす背景要因

- (1) 不登校からやがてひきこもりになっていくケース
- (2) 何らかの障がいや疾患があって、ひきこもりになっていくケース
- (3) 社会の価値観の変化などによりもたらされるひきこもりのケース
- (4) 心理的負荷によりもたらされるひきこもりのケース
 - ①人間関係に対する苦手意識
 - ②自己完結的世界への埋没
 - ③興味・関心を抱く世界へののめり込み
 - ④失敗や挫折体験から立ち直れない



社会の価値観などの変化により もたらされるひきこもりとは・・・

- (1) 世間体・恥意識の強さ・・・旧来型
- (2) アパシー・シンドローム・・・学生 職業人
・・・優勝劣敗に対するこだわり
- (3) 現代社会が好ましいと考える人物像に合わない
効率よく物事を処理できる
周囲との人間関係をうまく構築できる
言語的コミュニケーション能力が高い
特に発達障害系の人にはハードルが高い課題



心理的負荷によりもたらされる ひきこもりのケース

「自立」強化型社会がつくる「ひきこもり心性」

- 自立＝主体性の確立、自己決定の重視、
自己責任感を有する

前提・・自律性(葛藤処理能力)を蓄えることが大切

現実には、自律性が脆弱なまま、自立を求められるようになると不安(自己責任へのこだわり)が募り、やがて「自己決定回避願望」からひきこもり状態になっていく者が少なくない。<自己完結的思考>



ひきこもりをもたらす心理的要因

- 以前のひきこもり
 - 社会的規範を重視
 - 競争原理・優勝劣敗の価値観へのこだわりと挫折
- 今日ひきこもり
 - 個人的規範を重視
 - 自分の存在感、自分の価値意識、
 - 自分の目標へのこだわりと挫折

心理機制から垣間見る

「ひきこもり」の様態

- (ア) 甘え型ひきこもり……………人間の支配
- (イ) 居場所の確保型ひきこもり…空間の支配
- (ウ) 時間停止型ひきこもり……………時間の支配

人間の内なる世界に潜む攻撃性(支配欲)の歪んだ表れ方…病的行動に移行しやすい

自己保身的な枠組みが崩されると
「切れやすい」=家庭内暴力etc



「ひきこもり」親和群の存在

- 東京都調査では4.8%(推計16万人)
- 25歳以下、女性が多い
- 内閣府調査では約4%(推計155万人)
 - 東京都の補足調査・・・中・高・大学生対象
 - 5%～10%の範囲で存在(平均8.5%)
 - パーソナリティの問題を抱えている？
- ひきこもり、親和群ともに対象関係が脆弱であると思われる。ただし、親和群=予備群とは限らない。マスコミ報道による誤解が生じている。

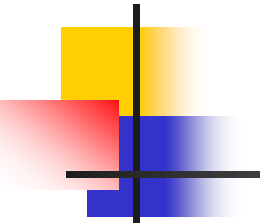
ひきこもる若者のこども時代

内閣府調査結果

■ 家庭

- 親が過保護・・・18.6、(9.9)
- 親はしつけが厳しかった・・・(33.6)、22.0
- 家族に相談しても役に立たない18.6、(18.3)
- 我慢することが多かった・・・(42.0)、23.7
- 親は学校の成績を重視していた(17.6)、13.6
- 自分で決めて相談することはなかった(21.4)
- 、15.3・・・・・・()は親和群
-

ひきこもる若者の子ども時代2

- 
- 学校・・不登校にはならない理由が読み取れる
 - 我慢をすることが多かった55.9、(51.1)
 - 友達にいじめられた(42.7)、42.4
 - いじめを見て見ぬふりをした(32.8)、28.8
 - 友達をいじめた(26.7)、15.3
 - 一人で遊んでいる方が楽しかった 27.1、(18.3)
 - 学校の勉強についていけなかった(31.3)、23.7
 - 学校の先生とうまくいかなかった(28.2)、18.6

ひきこもる若者の心的世界

～一般の若者群にも共通～

- 自己へのこだわり・・・自尊心の高さ
 - 一他者からの指示・命令を嫌う・・・幼児的万能感?
- こだわりを貫く自信を持たない
 - 一批判・評価を恐れる
- 人間関係に対する警戒心・不安感
 - 一争い・対立を避ける
- 自己完結的世界への埋没
 - 一自己決定・自己責任的世界の回避

仮説

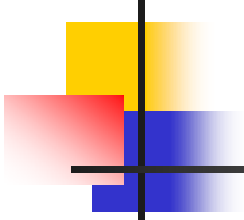
ひきこもりをもたらす心的状況

- 自分へのこだわり・・・近代的自我
(西欧文化的)
- ×
- 周囲との調和を求める・・・古典的自我
(日本文化的)
-
- 内的世界に乖離状態をもたらしやすい



自分へのこだわりー自尊心を傷 つけない心理

- 現代社会における刷り込みがもたらす心的世界
- 自分を大切にしろ
- 自分のやりたいことをやればいい
- 他人に頼るな・甘えるな
- 自己決定・自己責任の重視



人間関係の成立を妨げている要因として考えられるもの

- 二者関係が育まれていない
- 喜びと悲しみを共有する世界……
- 親子関係の偏り・・過保護と過干渉
- 兄弟姉妹関係の少なさ
- ギャングエイジ集団体験の消滅
- 自己中心的世界からの脱却が出来ない
- いきなり集団場面に放り込んでもダメ

まとめ

「ひきこもり」問題への対処

- ①「ひきこもり」は精神保健の観点から捉えるべき問題ではあるが、それは従来、精神障がい者を対象として講じられてきた精神医療的な枠組みのもとに対処することだけでは解決できない・・・教育・福祉・労働・医療が連携し、医師・心理士・ソーシャルワーカーなどの専門職が協力することにより、解決への道が開けるという認識を持つことが重要。
- ②心理的ひずみからもたらされる「ひきこもり」については、予防策を講じることが可能—家族支援・教育・労働施策等の領域が具体策を考案することが求められる。



心理的な背景要因を抱える「ひきこもり」への対応の難しさ

- **なんらかの疾病や障がい起因する場合**
 - 治療+社会復帰プログラム
 - SSTや機能回復訓練 社会適応力の育成
- **心理的問題に起因する場合**
 - 徹底した心理的ケア(カウンセリング)
 - +本人に適する仕事の可能性を探る
- 個別対応 緩やかな集団場面 共助感覚の育成



ひきこもる若者たちとは実は

- 現代社会が当然視する教育課題、就業課題に乗れない若者たちでは……
- 言語的コミュニケーション能力
- 対人関係を構築する能力
- テキパキと課題を遂行する能力
- を有していないと、欠陥扱いされかねない社会状況……「いじめ」の温床でもある

「ひきこもり親和心性」「居心地の良さに関する調査」結果

本研究は東京都におけるひきこもり調査の副調査として、明星大学黒岩誠教授を主たるまとめ役とする研究チーム(総括責任者 高塚雄介)により、調査分析を行ったものである。

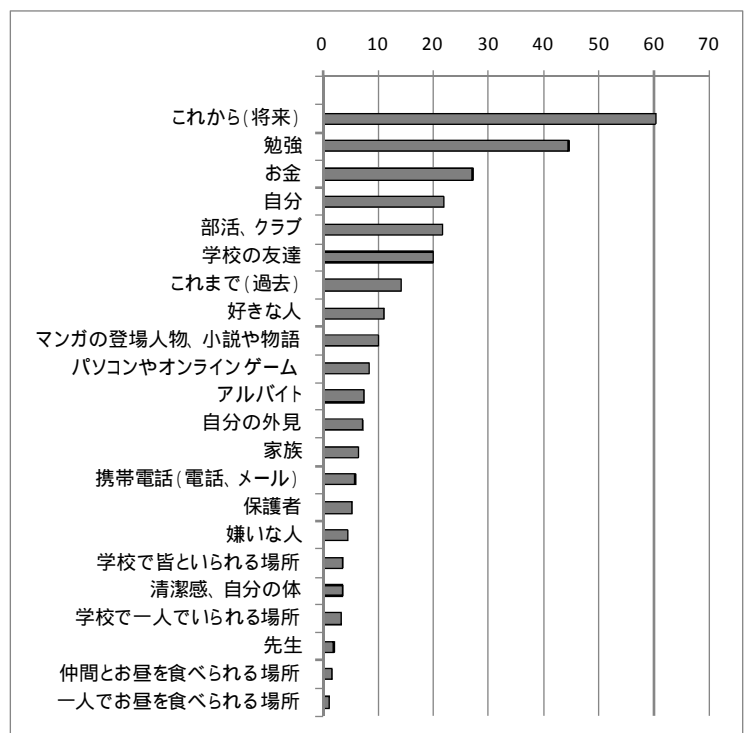
今回の調査に協力してもらった高校と、回答者の内訳は右表のとおり。A～B校は私立高校、C～F校は公立高校(回答用紙への記入状況を確認し、分析対象とした人数を示してある)。

	高1	高2	高3以上	計
A校	208	218	0	426
B校	267	223	244	734
C校	0	0	152	152
D校	28	67	35	130
E校	47	38	36	121
F校	54	40	41	135
計	604	586	456	1698

毎日の生活の中で特に気になる事柄

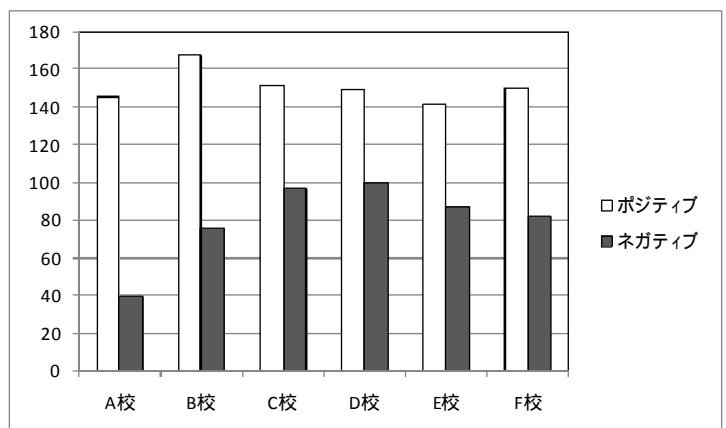
この問いは、複数回答による質問である。高校生全体において選択率が高かったものは、これから(将来)のこと、勉強のこと、お金のこと、自分のこと、部活のこと、学校のこと、友達のこと、これまで(過去)のこと、…などであった。2人に1人は日頃から将来のことを気にし、次いで多かった勉強やお金のことにしても将来や生活と少なからず関連する内容と思われた。また、自分のことと同程度に部活動や学校の友達のこと、友達のことが気になる事柄としてあげられていた。

10%以下の者にひきこもり心性が存在している者がいることが窺える。



最近感じる気持ちについて

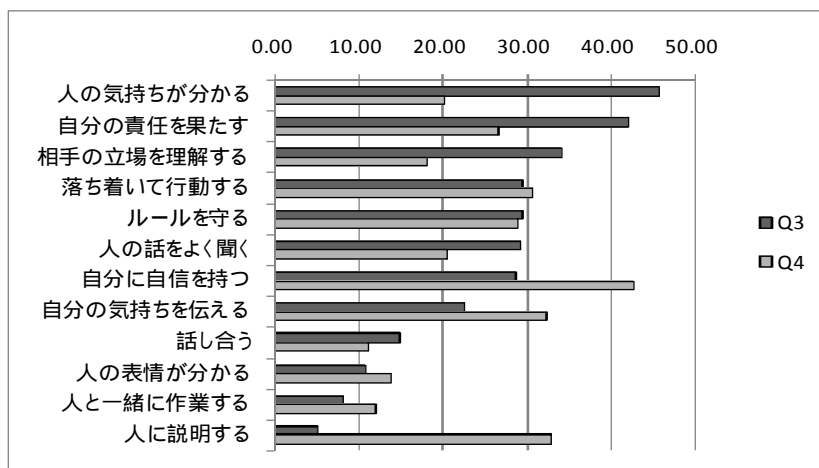
様々な感情を表す言葉から最近感じる気持ちを選んでもらった(複数可)。この中から、ポジティブな気持ち(うれしい、たのしい、あかるい、あたたかい)とネガティブな気持ち(さびしい、くるしい、かなしい、くらい、)の回答率を累積し、学校別に表したものが右図である。



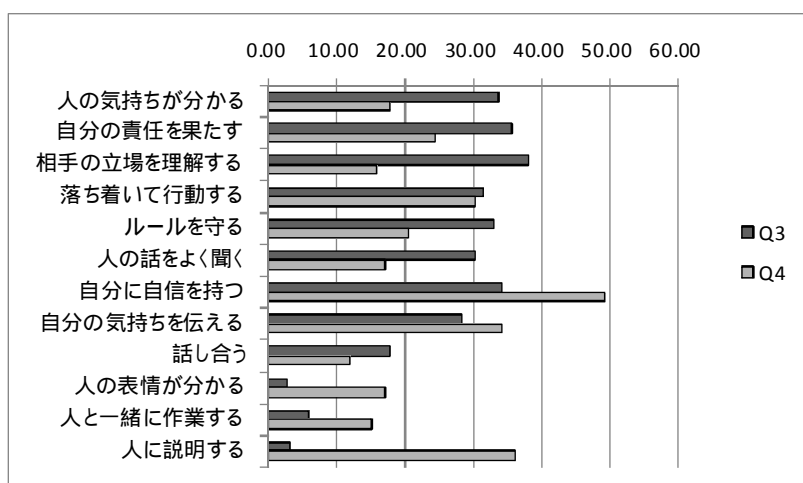
大切だと思う行動（Q3）と、大切なのにできそうにないと思う行動（Q4）

私立 2 校の結果は次のとおり。大切だと思う行動として上位にあげられた順に「人の気持ちが分かる」、「自分の責任を果たす」、「相手の立場を理解する」、「落ち着いて行動する」、「ルールを守る」、「人の話をよく聞く」、「自分に自信を持つ」・・・。一方、「大切だと思うのにできそうにないと思う行動」として上位にあげられたものは「自分に自信を持つ」、「人に説明する」、「自分の気持ちを伝える」、「落ち着いて行動する」、「ルールを守る」、「自分の責任を果たす」、「人の話をよく聞く」・・・となっていた。

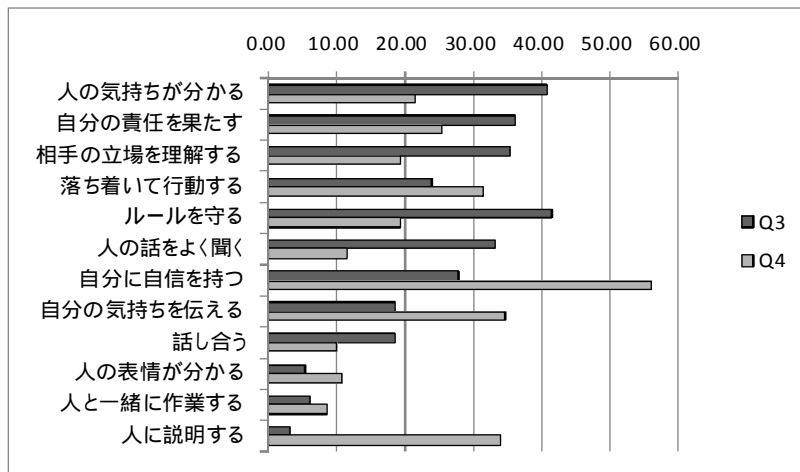
私立 (n=1160)	Q3	Q4
人の気持ちが分かる	45.69	20.17
自分の責任を果たす	41.98	26.55
相手の立場を理解する	34.22	18.10
落ち着いて行動する	29.48	30.60
ルールを守る	29.40	28.88
人の話をよく聞く	29.22	20.45
自分に自信を持つ	28.62	42.59
自分の気持ちを伝える	22.50	32.27
話し合う	14.91	11.12
人の表情が分かる	10.69	13.79
人と一緒に作業する	8.19	11.98
人に説明する	5.09	32.93



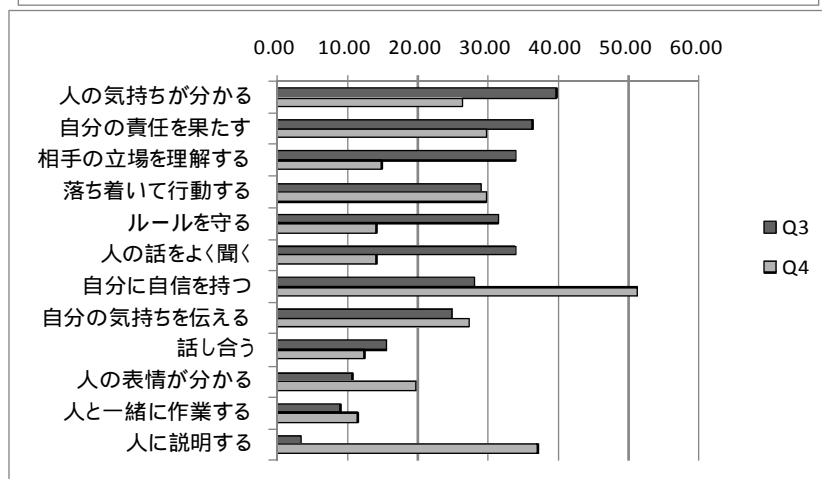
C校	Q3	Q4
人の気持ちが分かる	33.55	17.76
自分の責任を果たす	35.53	24.34
相手の立場を理解する	38.16	15.79
落ち着いて行動する	31.58	30.26
ルールを守る	32.89	20.39
人の話をよく聞く	30.26	17.11
自分に自信を持つ	34.21	49.34
自分の気持ちを伝える	28.29	34.21
話し合う	17.76	11.84
人の表情が分かる	2.63	17.11
人と一緒に作業する	5.92	15.13
人に説明する	3.29	36.18



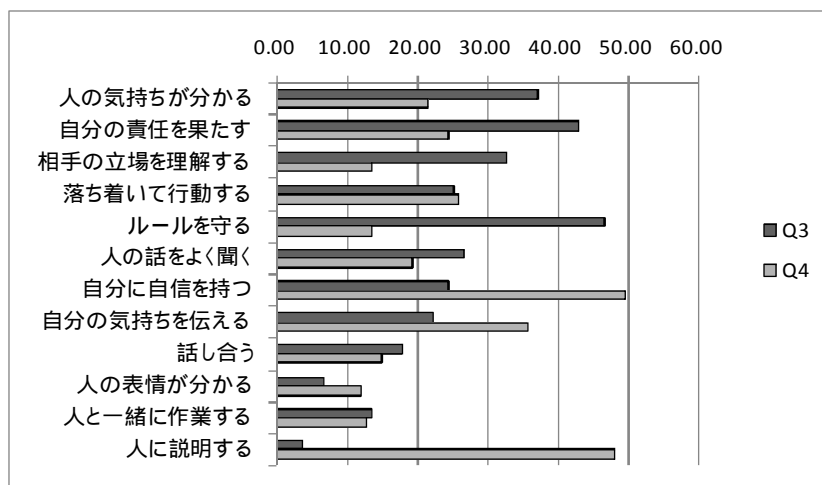
D校	Q3	Q4
人の気持ちが分かる	40.77	21.54
自分の責任を果たす	36.15	25.38
相手の立場を理解する	35.38	19.23
落ち着いて行動する	23.85	31.54
ルールを守る	41.54	19.23
人の話をよく聞く	33.08	11.54
自分に自信を持つ	27.69	56.15
自分の気持ちを伝える	18.46	34.62
話し合う	18.46	10.00
人の表情が分かる	5.38	10.77
人と一緒に作業する	6.15	8.46
人に説明する	3.08	33.85



E校	Q3	Q4
人の気持ちが分かる	39.67	26.45
自分の責任を果たす	36.36	29.75
相手の立場を理解する	33.88	14.88
落ち着いて行動する	28.93	29.75
ルールを守る	31.40	14.05
人の話をよく聞く	33.88	14.05
自分に自信を持つ	28.10	51.24
自分の気持ちを伝える	24.79	27.27
話し合う	15.70	12.40
人の表情が分かる	10.74	19.83
人と一緒に作業する	9.09	11.57
人に説明する	3.31	37.19



F校	Q3	Q4
人の気持ちが分かる	37.04	21.48
自分の責任を果たす	42.96	24.44
相手の立場を理解する	32.59	13.33
落ち着いて行動する	25.19	25.93
ルールを守る	46.67	13.33
人の話をよく聞く	26.67	19.26
自分に自信を持つ	24.44	49.63
自分の気持ちを伝える	22.22	35.56
話し合う	17.78	14.81
人の表情が分かる	6.67	11.85
人と一緒に作業する	13.33	12.59
人に説明する	3.70	48.15



学校内で居心地のよい場所

選択肢の内容から、教室・部活動を「友達といる場」、職員室を「先生がいる場」、保健室・カウンセリングルームを「サポートされる場」、図書室を「一人でのいる場」として各校の生徒の選択率を示したものが下表である。

学内の居場所(選択率)	A校	B校	C校	D校	E校	F校
友達といる場	77.23	72.89	52.63	70.77	54.55	39.26
先生がいる場	4.46	1.23	5.92	4.62	0.83	11.85
サポートされる場	8.45	6.54	11.18	6.92	13.22	8.89
一人でのいる場	18.31	15.40	32.24	20.77	24.79	48.89
居場所なし	12.21	8.45	23.68	20.00	27.27	20.74

これによると、一人でいる場、居場所なしがかなり多いことがわかる。

悩みを相談したい相手

どの学校も「友達」は半数以上の回答率が示されている。

そのほかの質問

	私立 (n=1158)		A校	B校	C校	D校	E校	F校
	平均	SD						
自分のことは、自分の意志で決めている	2.02	0.74	1.99	2.03	1.96	1.99	2.02	1.92
計画を立てて努力したものはうまくいっている	2.47	0.82	2.56	2.41	2.52	2.48	2.62	2.57
しかられたり失敗しても、再び努力している	1.88	0.75	1.99	1.82	2.41	2.40	2.35	2.36
自分のことを自分で決めるのは怖い	2.74	0.91	2.66	2.79	2.74	2.62	2.67	2.74
クラスの仲間との関係はうまくいっている	1.87	0.72	1.90	1.85	2.20	2.01	2.17	2.15
初対面の人とすぐに会話ができる	2.47	0.97	2.57	2.42	2.70	2.57	2.67	2.72
自分の気持ちを人にうまく表すことができる	2.60	0.82	2.63	2.59	2.80	2.67	2.83	2.88
周りの人ともめ事が起こったときにも解決できる	2.37	0.75	2.42	2.35	2.55	2.47	2.63	2.68
みんなの前で失敗した時でも、どうにかすることができる	2.38	0.78	2.49	2.32	2.55	2.44	2.66	2.50
人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩んでいる	2.39	0.97	2.24	2.48	2.18	2.58	1.89	2.17
自分を理解してくれる人がある	1.96	0.83	2.19	1.82	1.95	2.02	2.09	2.05
悩みや心配事があっても、体は元気だ	2.07	0.91	2.07	2.07	2.28	2.15	2.38	2.18
学校の先生は絶対に間違えたことはしてはいけないと思う	2.45	1.02	2.63	2.35	2.68	2.63	2.34	2.50
家や部屋に閉じこもって外に出ない人たちの気持ちがわかる	2.47	1.01	2.37	2.53	2.07	2.38	1.88	2.01
自分も、家や部屋に閉じこもりたいと思うことがある	2.66	1.07	2.70	2.64	2.10	2.53	2.05	2.10
いやな出来事があると、外に出たくなくなる	2.57	1.00	2.65	2.52	2.19	2.55	2.33	2.27
理由があるなら、家や部屋に閉じこもるのも仕方がないと思う	2.29	0.96	2.26	2.31	2.10	2.22	1.93	2.11

次に同様の質問を中高一貫制 2 校の私立中学生にまで広げて調査してみた。

学校別、学年別の人数内訳

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
A校	220	207	231	208	218	0
B校	202	203	184	267	223	244

最近考えていること	中1	中2	中3	高1	高2	高3
保護者	5.21	5.12	6.02	4.21	6.12	9.43
家族	4.27	3.41	3.61	2.95	1.36	5.33
学校の友達	29.62	24.88	23.61	19.16	17.46	17.62
自分	11.85	10.98	17.11	15.58	19.50	20.90
先生	1.90	0.98	2.41	1.89	1.13	2.46
部活、クラブ	44.79	46.34	36.39	34.95	25.40	6.56
学校で皆とられる場所	4.27	5.61	4.34	4.00	2.72	4.92
学校で一人でられる場所	0.71	2.20	2.17	4.42	3.63	2.46
仲間とお昼を食べられる場所	3.08	2.68	1.93	2.11	0.45	2.05
一人でお昼を食べられる場所	0.24	0.73	0.24	0.42	1.13	1.64
これから(将来)	32.94	34.88	50.12	57.05	65.08	61.48
これまで(過去)	14.22	13.90	13.25	11.58	12.93	18.03
好きな人	7.82	9.27	8.67	9.89	7.94	14.34
嫌いな人	11.14	9.27	4.10	5.68	4.08	4.10
マンガの登場人物、小説や物語	12.32	11.95	14.22	11.37	8.39	9.02
パソコンやオンラインゲーム	13.03	10.98	13.49	10.53	8.39	5.33
携帯電話(電話、メール)	5.45	6.83	6.75	5.47	5.90	4.51
清潔感、自分の体	3.32	3.66	4.10	4.21	4.08	2.46
自分の外見	7.58	4.88	8.43	8.84	6.12	7.79
お金	25.36	30.00	24.34	23.79	22.50	31.15
勉強	52.13	48.78	45.06	49.89	63.86	46.31
アルバイト	0.95	2.44	4.58	3.58	1.81	9.02

Q2

気持ち	中1	中2	中3	高1	高2	高3
たのしい	76.78	78.29	74.22	78.11	70.29	75.00
うれしい	47.87	49.76	44.34	40.21	33.79	42.21
あかるい	44.08	41.22	35.42	31.79	34.47	29.51
あたたかい	17.30	15.61	17.59	16.84	12.02	14.34
さびしい	11.37	11.71	14.94	19.79	23.36	23.77
くるしい	20.14	19.02	20.48	24.00	21.54	34.43
かなしい	14.45	14.15	13.01	14.74	15.19	11.07
くらい	13.51	14.15	14.46	12.00	18.18	15.98
おもい	24.64	25.37	33.49	30.32	31.97	25.41
しずかな	19.91	18.29	22.65	19.37	23.58	14.34

学年が上になるにつれ、ネガティブな心情を有するようになっていくことが示されている。

Q3、Q4

	大切に思う行動						大切に思うが難しい行動					
	中1	中2	中3	高1	高2	高3	中1	中2	中3	高1	高2	高3
ルールを守る	37.91	39.51	32.05	31.58	27.66	28.28	28.44	33.17	33.01	28.84	30.16	26.64
自分の責任を果たす	40.05	38.29	40.24	39.16	43.31	45.08	26.54	32.44	27.71	27.37	27.44	23.36
人と一緒に作業する	9.95	11.22	6.75	10.53	7.71	4.51	11.85	8.05	10.60	10.32	13.15	13.11
人の話をよく聞く	30.09	27.56	29.40	29.47	28.34	30.33	25.83	20.73	20.72	21.68	19.77	19.26
人に説明する	5.21	3.66	7.71	5.47	6.12	2.46	40.28	32.44	32.53	34.11	29.25	37.30
話し合う	13.74	10.73	13.01	14.53	13.38	18.44	12.56	11.46	13.98	11.79	10.43	11.07
自分の気持ちを伝える	18.01	18.78	19.28	24.21	19.27	25.00	28.67	28.05	29.88	32.28	34.01	29.10
人の気持ちが分かる	33.89	40.98	42.41	44.21	46.71	46.72	19.91	19.51	20.72	20.42	23.36	13.93
人の表情が分かる	7.58	9.02	11.57	10.11	12.93	7.79	14.45	13.66	13.25	13.47	12.93	15.98
相手の立場を理解する	41.23	34.63	33.25	33.26	30.61	42.62	19.67	25.61	16.87	18.32	19.50	15.16
自分に自信を持つ	28.44	27.56	26.27	27.16	31.07	27.05	35.31	37.32	40.48	39.58	44.67	44.67
落ち着いて行動する	31.99	34.39	35.42	29.47	35.37	18.85	32.46	28.29	34.22	31.37	29.93	30.33

Q5

学内で居心地のいい場所	中1	中2	中3	高1	高2	高3
教室	54.98	55.85	62.65	64.84	58.96	58.20
部活	46.21	49.27	51.81	43.37	42.40	33.61
図書室	23.46	19.51	16.39	14.74	19.27	14.75
カウンセリングルーム	4.03	1.46	1.69	1.89	1.81	2.87
保健室	7.11	6.34	7.23	5.89	6.80	4.10
職員いつ	0.47	1.22	3.37	2.74	2.04	2.46
その他	27.73	23.66	22.89	24.84	21.14	25.41
居心地のいい場所なし	7.35	6.34	8.19	8.42	12.70	7.38

居心地のいい場所なしとする者が各学年とも6～13%程度存在していることが示されている。

Q6

学外で居心地のいい場所	中1	中2	中3	高1	高2	高3
自分の部屋	70.62	74.88	78.07	78.06	82.73	78.69
居間	48.10	49.51	49.64	49.68	49.89	40.98
テレビのある部屋	40.05	34.88	33.73	25.68	24.04	20.08
ベランダ(庭)	8.29	7.07	6.51	6.32	5.22	6.15
公園	6.87	5.61	5.30	5.89	6.35	7.79
友達の家	9.48	8.05	5.78	10.53	8.62	9.02
ゲームセンター	5.92	8.05	4.34	8.84	6.12	6.56
コンビニ	5.92	9.27	6.02	6.95	4.31	2.05
その他	18.72	16.83	19.52	20.84	18.59	16.80
居心地のいい場所なし	2.84	2.93	1.93	2.95	2.72	3.28

Q7

親友に求める条件	中1	中2	中3	高1	高2	高3
話していて楽しい	83.89	83.17	82.17	81.68	78.46	81.15
趣味があう	41.71	39.76	43.37	39.16	37.64	38.52
ケンカができる	17.77	14.15	20.96	20.42	26.08	21.72
悪口は絶対言わない	13.03	11.71	8.19	10.11	9.52	7.79
自分に対して絶対嘘はつかない	20.85	20.24	23.61	20.42	21.54	26.64
相談に乗ってくれる	46.45	44.15	52.29	46.95	50.11	56.15
何でも話してくれる	37.20	34.88	39.28	41.89	39.77	51.64
やさしくしてくれる	40.05	33.17	31.08	28.63	21.82	27.87

Q8

親友に求めても難しい条件	中1	中2	中3	高1	高2	高3
話していて楽しい	2.13	3.17	3.61	3.16	2.49	2.05
趣味があう	19.67	18.29	21.69	21.47	19.50	20.90
ケンカができる	22.99	21.95	19.76	17.47	16.10	11.48
悪口は絶対言わない	54.50	50.24	56.14	54.32	56.69	51.64
自分に対して絶対嘘はつかない	50.24	48.54	49.64	42.95	49.66	36.48
相談に乗ってくれる	9.72	9.27	9.16	8.21	8.16	3.69
何でも話してくれる	31.99	29.02	35.66	28.42	34.24	21.31
やさしくしてくれる	11.85	10.98	11.33	7.79	9.98	6.97

Q9

相談したいと思う相手	中1	中2	中3	高1	高2	高3
保護者	34.12	28.54	25.78	31.22	33.33	29.51
きょうだい	9.48	8.78	9.64	10.74	11.56	11.89
友達	48.82	53.17	55.18	64.56	61.22	68.85
先生	7.58	4.88	7.71	10.53	12.24	10.25
プロの相談員	3.32	1.71	2.65	2.95	4.99	2.05
ネット掲示板などの相手	2.13	6.10	5.78	4.84	4.99	4.51
そのほかの人	8.29	9.27	11.08	10.95	9.52	11.48
自分で解決方法を考える	42.89	39.76	47.95	45.68	46.70	36.89
がまんする	28.20	20.73	24.34	25.89	23.36	25.82